

第19回日本神経学療法学会学術大会 採択演題一覧

2021年11月19日

登録番号	日付	時間	会場名	種類	セッション名	演題番号	演題名
E001	19日	9:00-10:00	第3会場	英語演題		E1-1	Rehabilitation interventions of unilateral spatial neglect based on the functional outcome measure: A systematic review and meta-analysis
E012	19日	9:00-10:00	第3会場	英語演題		E1-2	The effects of dynamic sitting exercise with delayed visual feedback in the early phase post stroke: a double blinded randomized controlled trial
E009	19日	9:00-10:00	第3会場	英語演題		E1-3	Characteristics of Changes in Vertical Perception and Activities of Daily Living in Patients after Stroke
E011	19日	9:00-10:00	第3会場	英語演題		E1-4	Effects of a stimulus response virtual reality task in deviated image on straight ahead orientation and standing balance
E002	19日	10:10-11:10	第3会場	英語演題		E2-1	Relationship between Muscle Hardness and Median Frequency in Surface Electromyography after Local Vibration Stimulation of Fatigued Muscle
E007	19日	10:10-11:10	第3会場	英語演題		E2-2	Effect of different polarities of Galvanic vestibular stimulation on the sitting balance in post-stroke
E010	19日	10:10-11:10	第3会場	英語演題		E2-3	Factors affecting the walking ability of severe hemiplegia patients were analyzed using Welwalk
E003	19日	10:10-11:10	第3会場	英語演題		E2-4	The immediate effect of task-related trunk training combined with sensory electrical stimulation of the neck and lumbar muscles for sitting balance in stroke patients: A Randomized Controlled Trial -Preliminary study-
E004	19日	11:20-12:20	第3会場	英語演題		E3-1	The inhibitors of early mobilization in acute phase of intracerebral hemorrhage
E005	19日	11:20-12:20	第3会場	英語演題		E3-2	Effects of unstable board training for the non-paretic lower limb on sitting balance for severe stroke patient
E008	19日	11:20-12:20	第3会場	英語演題		E3-3	Immediate effect of visual-motor illusion with "power image" on the sit-to-stand of stroke
E006	19日	11:20-12:20	第3会場	英語演題		E3-4	Applicability of Automated Detection of Muscle Activation Intervals on Children with Cerebral Palsy
JPTA0227-1054	19日	9:00-10:00	第5会場	指定演題	脳損傷・生活期・ADL	T7-1	脳卒中患者の自宅退院後の身体活動の変化およびそれに関連する因子の検討
JPTA0227-1063	18日	15:00-16:00	第5会場	口述演題	脳損傷・急性期	O4-4	座位保持困難な重度片麻痺例に対する傾斜面での側方移動練習の効果—Pusher現象例を対象とした症例集積—
JPTA0227-1071	19日	12:30-13:30	第5会場	口述演題	神経筋疾患・歩行・バランス・その他	O10-3	パーキンソン病患者の立位姿勢アライメントと体幹・下肢筋の筋量および筋内非収縮組織との関連
JPTA0227-1075	19日	9:50-10:20	談話室3	一般演題	脊髄障害（測定・評価、歩行）	D24-6	高度肥満症の胸椎黄色靭帯骨化症術後例に対するベルト電極式骨格筋電気刺激法の効果：症例報告
JPTA0227-1076	19日	11:20-12:20	第4会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行	O6-1	回復期脳卒中片麻痺患者における病棟内杖歩行自立の運動・認知機能のカットオフ値
JPTA0227-1077	18日	18:30-19:00	談話室1	一般演題	脳損傷（生活期）	D16-5	脳卒中患者の訪問リハビリテーション終了とADLの影響について
JPTA0227-1080	19日	9:00-9:30	談話室3	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）	D21-2	壁を利用した後方介助歩行練習を実施し、Pusher現象の軽減を認めた一例
JPTA0227-1081	18日	12:40-13:40	第4会場	指定演題	脳損傷・急性期	T3-2	意識障害の評価尺度：日本語版Coma Recovery Scale-Revisedの信頼性と妥当性の検討
JPTA0227-1086	18日	18:30-19:00	談話室3	一般演題	脊髄障害（回復期・生活期）	D18-1	頸椎性脊髄症術後の硬膜外血腫合併により歩行困難となった症例の臨床経過
JPTA0227-1099	18日	15:00-16:00	第4会場	口述演題	脊髄障害	O3-5	当センターにおける頸髄損傷者の自動車免許取得状況と車両改造について
JPTA0227-1100	19日	10:40-11:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）5	D25-1	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の実績指数に影響を与える因子の分析
JPTA0227-1104	19日	11:30-12:00	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）6	D28-2	入院時データに基づく回復期脳卒中患者の就労予測因子
JPTA0227-1108	19日	10:40-11:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）5	D25-4	被殻出血後の社会的行動障害（アパシー）に対して、薬物療法を含めた早期介入により症状の改善を認めた症例
JPTA0227-1112	19日	10:10-11:10	第4会場	指定演題	脳損傷・物理療法・評価・測定	T9-4	亜急性期脳卒中患者におけるBerg Balance ScaleのMinimal Clinically Important Differenceの検証
JPTA0227-1129	19日	9:00-10:00	第4会場	指定演題	脳損傷・測定・評価	T6-1	脳卒中患者におけるPhysical Activity Scale for the Elderlyを用いた身体活動量評価の妥当性および信頼性
JPTA0227-1182	18日	12:40-13:40	第2会場	指定演題	神経筋疾患	T1-3	体成分分析装置を用いた骨格筋量測定が運動負荷強度の調整に有用であった免疫介在性壊死性ミオパシーの一例
JPTA0227-1201	19日	13:10-13:40	談話室2	一般演題	その他	D34-2	足底感覚障害を呈した腰椎椎間板ヘルニアの一症例～独歩自立に向け安定性限界・姿勢制御戦略に着目して～
JPTA0227-1202	18日	16:50-17:20	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）2	D11-5	可変的な高強度の歩行練習により一定の歩行機能の改善を得た脳卒中後症例
JPTA0227-1206	19日	9:50-10:20	談話室3	一般演題	脊髄障害（測定・評価、歩行）	D24-1	歩容の改善に難渋し特異的病態を呈した後縦靭帯骨化症の一症例 PDCAサイクルに基づいた着目側の切り替え
JPTA0227-1210	18日	17:40-18:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）3	D13-2	回復期リハビリ病棟における長下肢装具を作製した重度脳卒中患者の歩行自立に影響を及ぼす因子の検討
JPTA0227-1227	19日	11:20-12:20	第5会場	口述演題	基礎・その他・発達	O7-4	脳卒中後疼痛の痛みの性質による分類と特徴
JPTA0227-1232	19日	9:50-10:20	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）4	D23-1	ウェルウォーク練習後の平地歩行FIM5到達および未達患者の特徴
JPTA0227-1236	18日	15:10-15:40	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）2	D4-1	脳動脈瘤破裂により失調症状を呈した若年小脳出血患者の一症例～復学に向けての理学療法を経験して～
JPTA0227-1237	19日	11:20-12:20	第4会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行	O6-5	回復期脳卒中片麻痺者のPhysical Cost Indexと身体機能・歩行パラメータの関連
JPTA0227-1243	18日	15:10-15:40	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）2	D4-3	急性期における被殻出血に対する理学療法-発症早期の長下肢装具作成例-
JPTA0227-1245	19日	11:20-12:20	第5会場	口述演題	基礎・その他・発達	O7-1	脳部位剖出を伴う解剖実習によるセラピストの脳構造理解度の向上
JPTA0227-1247	19日	10:40-11:10	談話室3	一般演題	脳損傷（バランス）	D27-1	歩行の実用性向上に対して介入した若年小脳出血の一症例-段階的な課題設定による無意識な運動制御の獲得-
JPTA0227-1250	19日	9:00-9:30	談話室3	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）	D21-1	左半側空間無視のサブタイプに着目し、視空間に対する手掛かりにより左側への気づきを促した脳梗塞の一症例
JPTA0227-1256	19日	9:00-10:00	第2会場	指定演題	脳損傷・歩行・装具・ロボット	T5-4	脳卒中患者の長下肢装具療法が機能的移動能力とADLに及ぼす効果：症例報告のシステマティックレビュー
JPTA0227-1257	18日	15:00-16:00	第3会場	口述演題	神経筋疾患・バランス・歩行	O2-5	パーキンソン病患者における6分間歩行距離の臨床的に意義のある最小変化量の検討
JPTA0227-1258	19日	13:10-13:40	談話室2	一般演題	その他	D34-5	痛みによる固定動作の解放によりトイレ清拭動作が自立し痛みと破局的思考にも改善がみられた仙骨骨折一症例

第19回日本神経学療法学会学術大会 採択演題一覧

2021年11月19日

登録番号	日付	時間	会場名	種類	セッション名	演題番号	演題名
JPTA0227-1263	18日	15:00-16:00	第2会場	口述演題	脳損傷・歩行	O1-3	脳卒中患者における歩行の時間的非対称性と筋シナジーパターン-聴覚刺激を使用した実験的研究-
JPTA0227-1272	19日	10:10-11:10	第5会場	口述演題	脳損傷・評価・測定	O5-1	足関節背屈被動抵抗計測装置の開発と脳卒中片麻痺者における検者内信頼性と臨床有用性の検討
JPTA0227-1290	19日	12:20-12:50	談話室1	一般演題	神経筋疾患（バランス）	D31-4	脊髄小脳変性症患者におけるバランス機能の変化に焦点を当てた評価法の有用性に関する予備研究
JPTA0227-1294	19日	9:00-9:30	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）3	D19-4	新型コロナウイルス感染症後に脳梗塞を発症し左浅側頭動脈-中大脳動脈吻合術を施行した1症例
JPTA0227-1300	18日	12:40-13:40	第4会場	指定演題	脳損傷・急性期	T3-4	重症くも膜下出血患者に対する攣縮期離床の安全性の検討
JPTA0227-1301	19日	12:30-13:30	第3会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行2	O8-1	内部モデルの再学習を目的としたモデルベースの筋電図バイオフィードバックシステムに関する提案
JPTA0227-1306	18日	16:00-16:30	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）1	D8-2	脳卒中重度歩行障害例において発症早期の歩行中の大腿四頭筋筋活動は歩行中の骨盤角度と歩行速度が関連する
JPTA0227-1311	19日	11:20-12:20	第4会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行	O6-3	脳卒中患者におけるうつや情動不具の程度が歩行の獲得に及ぼす影響とカットオフ値について
JPTA0227-1319	18日	12:40-13:40	第3会場	指定演題	脊髄障害	T2-2	Trunk Assessment Scale for Spinal Cord Injury (TASS) の基準関連妥当性と反応性について
JPTA0227-1325	18日	17:40-18:10	談話室3	一般演題	脳損傷（その他）	D15-3	感覚弁別課題により、右上肢の痛みが軽減した左脳出血後の一症例
JPTA0227-1328	18日	18:30-19:00	談話室1	一般演題	脳損傷（生活期）	D16-2	慢性期脳卒中片麻痺に対する下肢修正CI療法の効果
JPTA0227-1331	18日	17:40-18:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）3	D14-1	遊脚相での膝関節屈曲角度の増大をTLAの拡大から図った症例
JPTA0227-1334	18日	18:30-19:00	談話室2	一般演題	脳損傷（ADL）	D17-4	両側視床梗塞、溺水による低酸素脳症の症例 重度身体機能低下の食事摂取獲得0から1
JPTA0227-1338	19日	12:20-12:50	談話室1	一般演題	神経筋疾患（バランス）	D31-2	脊髄小脳変性症（SCD）により運動失調を呈した症例に対する外骨格フレームを用いた治療効果の検討
JPTA0227-1340	19日	12:30-13:30	第5会場	口述演題	神経筋疾患・歩行・バランス・その他	O10-4	パーキンソン病患者の歩行に対するセルフアセスメント指標としての Usual 2-step値の信頼性と妥当性の検証
JPTA0227-1341	19日	10:10-11:10	第5会場	口述演題	脳損傷・評価・測定	O5-2	起き上がり動作の獲得が不十分な片麻痺患者は非麻痺側上肢をどこに設置するのが最も効果的か
JPTA0227-1349	19日	9:50-10:20	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）4	D23-2	歩行練習支援ロボットを併用しADL動作が改善した重度右片麻痺を呈した症例
JPTA0227-1353	18日	17:40-18:10	談話室3	一般演題	脳損傷（その他）	D15-4	起き上がり動作の獲得に向けて感覚モダリティに配慮して介入した右皮質下出血の一症例
JPTA0227-1354	19日	11:30-12:00	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）5	D29-5	半球間抑制と運動麻痺回復ステージ理論を考慮して介入早期に独歩自立を獲得した右脳梗塞の一症例
JPTA0227-1357	18日	16:00-16:30	談話室3	一般演題	脳損傷（予後予測）	D9-1	急性期脳梗塞患者における離床開始時の下肢Fugl Meyer Assessmentは歩行自立の予測能を向上させる
JPTA0227-1358	18日	16:50-17:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）2	D10-1	脳卒中患者の起き上がり動作を改善する理学療法におけるアクティビティの時間配分
JPTA0227-1360	19日	9:00-9:30	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）3	D19-3	脳卒中関連肺炎ハイリスク例の早期離床および肺炎発症に人員増加が及ぼす影響：単施設過去起点コホート研究
JPTA0227-1361	18日	14:20-14:50	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）1	D1-2	急性期脳卒中患者における身体活動の特徴と関連因子の検討
JPTA0227-1369	18日	15:00-16:00	第2会場	口述演題	脳損傷・歩行	O1-4	脳卒中片麻痺患者における歩行速度と歩行時体幹加速度の経時的変化の関連
JPTA0227-1372	18日	18:30-19:00	談話室1	一般演題	脳損傷（生活期）	D16-4	CI療法のコンセプトを応用した集中練習により、長期的な身体活動量の向上が得られた慢性期脳卒中片麻痺例
JPTA0227-1375	19日	10:10-11:10	第2会場	指定演題	脳損傷・急性期2	T8-2	くも膜下出血患者の重症度による端坐位達成日数の違いとその遅延因子
JPTA0227-1385	18日	15:00-16:00	第4会場	口述演題	脊髄障害	O3-3	感覚性運動失調を呈した脊髄炎後対麻痺患者に対し、Nordic Walkingが歩行リズム形成に寄与した1例
JPTA0227-1389	18日	18:30-19:00	談話室3	一般演題	脊髄障害（回復期・生活期）	D18-2	歩行再獲得を目指した亜急性連合性脊髄変性症患者1例への介入経験
JPTA0227-1392	18日	16:50-17:20	談話室3	一般演題	脳損傷（物理療法）	D12-3	電気刺激の電極貼付部位の違いが方向性注意機能に及ぼす影響
JPTA0227-1393	19日	12:30-13:30	第4会場	口述演題	脳損傷・急性期・歩行	O9-3	急性期脳梗塞患者における下肢版Fugl-meyer assessmentを用いた予後予測の検討
JPTA0227-1394	19日	11:20-12:20	第5会場	口述演題	基礎・その他・発達	O7-3	罹患期間別による脳卒中後疼痛の特徴
JPTA0227-1401	18日	12:40-13:40	第3会場	指定演題	脊髄障害	T2-1	外傷性頸髄損傷者の実績指数の傾向 - 当院回復期リハビリテーション病棟における後方視的調査 -
JPTA0227-1406	19日	9:00-10:00	第4会場	指定演題	脳損傷・測定・評価	T6-2	脳卒中片麻痺患者における筋感覚的運動イメージの鮮明度と身体機能との関連：予備的研究
JPTA0227-1410	18日	16:00-16:30	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）1	D8-3	歩行能力の向上に向け介入した初回左放線冠ラクナ梗塞の一症例 ~筋緊張異常・位置覚低下に着目して~
JPTA0227-1411	19日	13:10-13:40	談話室2	一般演題	その他	D34-3	体幹機能への着想から遷延した運動時痛が軽減された人工膝全置換術の一症例
JPTA0227-1413	18日	12:40-13:40	第2会場	指定演題	神経筋疾患	T1-2	脊髄小脳変性症および多系統萎縮症患者におけるCOVID-19の流行が生活機能低下に寄与する因子の検討
JPTA0227-1414	19日	9:50-10:20	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）4	D23-4	当院における長下肢装具処方数増加要因とセラピストの認識調査 ~第一報現状の課題と今後の取り組み~
JPTA0227-1415	19日	11:30-12:00	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）6	D28-4	脳卒中後遺症を呈し、他職種連携によりブルーカラーへの職場復帰を達成した1症例
JPTA0227-1416	19日	12:20-12:50	談話室1	一般演題	神経筋疾患（バランス）	D31-5	慣性センサを用いたパーキンソン病におけるTimed up and Go testの相分けの検討
JPTA0227-1418	19日	10:10-11:10	第2会場	指定演題	脳損傷・急性期2	T8-4	急性期脳卒中重度歩行障害例の歩行予後良好例と不良例における発症早期の歩行特徴の相違点
JPTA0227-1419	19日	9:50-10:20	談話室3	一般演題	脊髄障害（測定・評価、歩行）	D24-2	胸髄硬膜外腫瘍3手術例の1年間における歩行機能の推移 一固有感覚障害に着目して一
JPTA0227-1420	18日	15:10-15:40	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）2	D6-1	回復期脳卒中患者における大脳脚の拡散異方性と下肢装具作製の関係
JPTA0227-1421	18日	12:40-13:40	第3会場	指定演題	脊髄障害	T2-4	頸髄損傷改良フランケル分類D症例における早期歩行自立と入院前生活との関連
JPTA0227-1422	19日	12:30-13:30	第5会場	口述演題	神経筋疾患・歩行・バランス・その他	O10-2	パーキンソン病患者の歩行開始動作における予測的姿勢調節と1歩目の一致率の関連について
JPTA0227-1423	19日	12:30-13:30	第4会場	口述演題	脳損傷・急性期・歩行	O9-2	延髄内側梗塞を発症し前庭神経路の障害が示唆された一症例
JPTA0227-1424	18日	16:00-16:30	談話室3	一般演題	脳損傷（予後予測）	D9-3	CT画像上予後不良が予測された被殻出血患者が歩行自立に至った要因の分析
JPTA0227-1425	19日	10:10-11:10	第5会場	口述演題	脳損傷・評価・測定	O5-3	テント下脳卒中患者の静止立位時の左右足圧中心位置に関連する要因 -後向き横断研究-
JPTA0227-1428	19日	13:10-13:40	談話室1	一般演題	神経筋疾患（歩行）	D33-1	部分免荷がパーキンソン病患者の歩行動作に与える影響
JPTA0227-1430	18日	15:10-15:40	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）2	D6-2	Lateropulsionを有するCVA患者への体性感覚を意識した視覚的フィードバック~姿勢、歩行の改善を得た症例~

第19回日本神経学療法学会学術大会 採択演題一覧

2021年11月19日

登録番号	日付	時間	会場名	種類	セッション名	演題番号	演題名
JPTA0227-1434	18日	15:10-15:40	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）2	D4-4	入院後積極的な離床を実施したが筋萎縮は防ぐことができなかった放線冠梗塞（BAD型）の一例
JPTA0227-1435	18日	17:40-18:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）3	D13-3	視床出血により感覚性運動失調性片麻痺を呈した一症例:症例報告
JPTA0227-1436	19日	9:00-9:30	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）3	D19-5	急性期脳卒中患者の転帰における影響因子の検討ー自宅退院群と回復期転院群による検討ー
JPTA0227-1439	18日	14:20-14:50	談話室2	一般演題	脳損傷（測定・評価）	D2-1	脳卒中後期高齢患者における6分間歩行距離と体重支持指数との関係について
JPTA0227-1440	18日	15:10-15:40	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）2	D6-3	片麻痺歩行に対する足関節ロボット底屈アシスト歩行において麻痺肢推進力が増加する患者の特徴分析
JPTA0227-1441	18日	14:20-14:50	談話室2	一般演題	脳損傷（測定・評価）	D2-5	利き手・非利き手における膝打ち試験の基準スピードに関する検討
JPTA0227-1444	19日	12:30-13:30	第4会場	口述演題	脳損傷・急性期・歩行	O9-4	急性期脳卒中重度歩行障害例における長下肢装具の足関節背屈制動の有無が及ぼす発症早期の歩行特徴の差異
JPTA0227-1448	18日	16:00-16:30	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）1	D8-5	トレッドミルと視覚フィードバックの併用にて、歩行の対称性と規則性の改善が認められた小脳出血患者
JPTA0227-1450	19日	11:30-12:00	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）5	D29-4	直線歩行に加え外的環境変化や内乱への反応の獲得を模索したラクナ梗塞一症例
JPTA0227-1451	18日	18:30-19:00	談話室2	一般演題	脳損傷（ADL）	D17-1	脳梗塞を合併した植え込み型補助人工心臓システム(HVAD)装着女兒のオンラインカンファレンスの重要性
JPTA0227-1452	19日	9:00-9:30	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）3	D19-2	自律性・随意性呼吸障害を生じた延髄外側梗塞症例のリハビリテーション経過
JPTA0227-1453	19日	9:50-10:20	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）4	D23-3	回復期リハ病棟入院中に長下肢装具を作製した患者の退院後の歩行自立度に関連する因子
JPTA0227-1454	18日	15:00-16:00	第5会場	口述演題	脳損傷・急性期	O4-5	急性期脳卒中患者に対し装具フローチャートを使用した歩行再建への取り組み
JPTA0227-1457	18日	16:50-17:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）2	D10-3	体幹失調が動作能力に与える影響～SAMI-S～
JPTA0227-1458	18日	15:10-15:40	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）2	D4-5	一側の視床出血により視床性失立症を認めた一症例の立位バランスの急性期の経過
JPTA0227-1459	19日	9:00-10:00	第2会場	指定演題	脳損傷・歩行・装具・ロボット	T5-2	回復期脳卒中片麻痺患者に対するWW-1000を用いた歩行練習における退院時の歩行自立度に影響する因子の検討
JPTA0227-1463	18日	14:20-14:50	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）1	D1-3	急性期アテローム血栓性脳梗塞患者の症状増悪に関わる因子の検討
JPTA0227-1464	19日	9:00-9:30	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）3	D20-2	重度片麻痺症例に対する免荷牽引装置を用いた歩行練習の経験と効果
JPTA0227-1470	19日	9:00-10:00	第5会場	指定演題	脳損傷・生活期・ADL	T7-3	分節性ジストニアに対し短下肢装具を作製したことで転倒リスク軽減につながった一症例
JPTA0227-1471	18日	15:00-16:00	第2会場	口述演題	脳損傷・歩行	O1-5	歩行自立度に応じた回復期脳卒中者における身体活動量および座位行動パターンの最適な測定日数
JPTA0227-1472	19日	12:30-13:30	第3会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行2	O8-2	脳卒中片麻痺患者における運動麻痺重症度別の歩行の非対称性と運動麻痺および歩行速度の関係
JPTA0227-1473	18日	15:00-16:00	第3会場	口述演題	神経筋疾患・バランス・歩行	O2-3	スマートフォンを用いた予測的姿勢制御の定量的評価の確立
JPTA0227-1474	19日	13:10-13:40	談話室1	一般演題	神経筋疾患（歩行）	D33-5	進行性核上性麻痺のすくみ足に対するQピットの使用経験
JPTA0227-1476	19日	10:40-11:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）4	D26-4	姿勢推定プログラムOpenposeを用いた脳卒中片麻痺患者におけるTrailing姿勢破綻時の代償運動の推定
JPTA0227-1477	19日	10:10-11:10	第4会場	指定演題	脳損傷・物理療法・評価・測定	T9-3	他動的背屈動作による運動覚入力が脳磁場応答に及ぼす影響
JPTA0227-1478	19日	9:00-10:00	第2会場	指定演題	脳損傷・歩行・装具・ロボット	T5-3	足関節歩行支援ロボットを用いた初期接地時の足関節動的制御が歩行様式に及ぼす影響
JPTA0227-1479	19日	12:30-13:30	第5会場	口述演題	神経筋疾患・歩行・バランス・その他	O10-5	語想起を用いた二重課題がパーキンソン病患者のtimed up and go testに与える影響
JPTA0227-1480	18日	16:50-17:20	談話室3	一般演題	脳損傷（物理療法）	D12-4	階段降段時の膝ずれに対しIVESを使用し筋収縮の強さの再学習を促した若年ラクナ梗塞一症例
JPTA0227-1482	19日	13:10-13:40	談話室1	一般演題	神経筋疾患（歩行）	D33-4	パーキンソン病患者に対するLSVT BIG®の効果の持続
JPTA0227-1483	19日	10:10-11:10	第2会場	指定演題	脳損傷・急性期2	T8-1	脳卒中後のPusher behaviorの初期重症度を加味した改善効率に関連する因子の検討
JPTA0227-1485	19日	11:20-12:20	第5会場	口述演題	基礎・その他・発達	O7-5	2～6歳の定型発達児における歩行の円滑性および規則性の変化:加速度波形解析による検討
JPTA0227-1486	18日	12:40-13:40	第2会場	指定演題	神経筋疾患	T1-4	パーキンソン病患者における静止立位時の姿勢障害の特徴分析ーPD関連運動機能障害の違いに着目してー
JPTA0227-1488	19日	11:30-12:00	談話室3	一般演題	発達障害	D30-3	身体イメージに着目して下衣の更衣動作獲得に向け介入した上位胸髄損傷児の一症例
JPTA0227-1489	18日	16:00-16:30	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）1	D7-5	回復期脳卒中者における身体活動量と骨格筋特性の関連性ー予備的検証ー
JPTA0227-1492	18日	18:30-19:00	談話室1	一般演題	脳損傷（生活期）	D16-1	通所リハビリテーションにおいて脳卒中後の中等度上肢麻痺に対し複合的な介入を実施した一事例
JPTA0227-1497	19日	10:10-11:10	第4会場	指定演題	脳損傷・物理療法・評価・測定	T9-2	片麻痺後肩関節痛が生じた一症例の感覚機能と経皮的電気神経刺激の効果との関連
JPTA0227-1498	18日	18:30-19:00	談話室2	一般演題	脳損傷（ADL）	D17-3	血液透析導入により発症後早期からの積極的介入が困難であった視床出血例-姿勢定位障害に着目した治療方策-
JPTA0227-1499	18日	17:40-18:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）3	D13-4	「回復期における中高年脳卒中片麻痺患者に対する理学療法の1例」-再発予防に向けた介入-
JPTA0227-1500	19日	10:40-11:10	談話室3	一般演題	脳損傷（バランス）	D27-2	続発性正常圧水頭症患者に対する壁もたれ立位による課題練習の即時効果
JPTA0227-1501	18日	16:00-16:30	談話室3	一般演題	脳損傷（予後予測）	D9-4	腹内側橋梗塞者における早期歩行獲得に関わる因子の検討
JPTA0227-1502	19日	9:00-10:00	第5会場	指定演題	脳損傷・生活期・ADL	T7-2	ADL自立レベルの地域在住脳卒中片麻痺者における高次生活機能の変化と遂行機能の関連-ケースシリーズ-
JPTA0227-1505	19日	9:50-10:20	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）4	D23-5	脳損傷後の上肢運動麻痺に対して重度麻痺者用治療連携パッケージを適用した一例
JPTA0227-1507	19日	13:10-13:40	談話室1	一般演題	神経筋疾患（歩行）	D33-3	神経難病患者に対する装着型サイボーグHAL治療®の運動学的考察
JPTA0227-1508	19日	11:30-12:00	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）5	D29-2	脳卒中後片麻痺症例の歩行時における皮質運動関連領域の活動の継時的変化
JPTA0227-1509	18日	16:50-17:20	談話室3	一般演題	脳損傷（物理療法）	D12-5	異なる周波数の末梢神経電気刺激を併用した他動的示指屈伸時脳活動ー脳卒中患者一例の脳磁図を用いた検討ー
JPTA0227-1512	18日	16:50-17:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）2	D10-2	回復期までBody lateropulsionが残存した症例の姿勢制御における代償戦略の経過報告
JPTA0227-1513	19日	10:10-11:10	第2会場	指定演題	脳損傷・急性期2	T8-3	急性期脳卒中患者の筋肉量を減少させる因子に関する検討
JPTA0227-1514	19日	13:10-13:40	談話室2	一般演題	その他	D34-4	認知課題の違いによる外乱刺激に対するバランス反応の変化
JPTA0227-1515	19日	9:00-10:00	第5会場	指定演題	脳損傷・生活期・ADL	T7-4	知覚型触覚性失認を呈した全盲例のADLへの影響

第19回日本神経学療法学会学術大会 採択演題一覧

2021年11月19日

登録番号	日付	時間	会場名	種類	セッション名	演題番号	演題名
JPTA0227-1516	18日	17:40-18:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）3	D14-3	仮想現実にて速度誤認識を形成させた際の前進および後進歩行の脳血流量変化に関する検討
JPTA0227-1518	19日	10:40-11:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）4	D26-1	脳卒中患者の歩行における過度な体幹前傾運動の原因についての検証 -下肢装具を用いた2症例での比較検討-
JPTA0227-1520	19日	10:40-11:10	談話室3	一般演題	脳損傷（バランス）	D27-5	片脚立位における遊脚下肢の動揺が姿勢保持に与える影響
JPTA0227-1522	19日	9:00-9:30	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）3	D20-4	歩行速度が48m/分未満の脳損傷後片麻痺患者へHonda歩行アシストを継続使用した際の効果
JPTA0227-1523	18日	14:20-14:50	談話室2	一般演題	脳損傷（測定・評価）	D2-2	脳卒中片麻痺者に対する振動覚スケールの信頼性の検討 -Rydel-Seiffer音叉を用いた振動覚スケールの有用性-
JPTA0227-1524	19日	9:00-10:00	第4会場	指定演題	脳損傷・測定・評価	T6-4	回復期脳卒中片麻痺患者におけるPhase angleと四肢骨格筋量の関連性と経時的変化
JPTA0227-1527	18日	16:00-16:30	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）1	D7-1	発症から4ヵ月後、遷延性意識障害を呈した被殻出血患者に対する理学療法経験
JPTA0227-1529	19日	12:20-12:50	談話室2	一般演題	神経筋疾患（急性期・回復期）	D32-1	ICU-AWを呈したCOVID-19重症症例に対するリハビリテーションは筋力とADLを改善させる
JPTA0227-1530	18日	18:30-19:00	談話室3	一般演題	脊髄障害（回復期・生活期）	D18-3	特発性脊髄くも膜下出血の1例～体幹・両下肢筋力Manual Muscle Test 0から移乗自立までのプロセス～
JPTA0227-1531	19日	13:10-13:40	談話室1	一般演題	神経筋疾患（歩行）	D33-2	パーキンソン病患者に対してウエルウォークWW-1000のトレッドミル歩行を用いた一症例
JPTA0227-1532	18日	18:30-19:00	談話室2	一般演題	脳損傷（ADL）	D17-5	回復期脳卒中者における入院から1か月間の施設内生活空間での身体活動の変化と入院時基本的ADLとの関係
JPTA0227-1534	18日	15:10-15:40	談話室2	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）1	D5-2	Pusher現象に対するティルトテーブル上立位でのリーチ練習効果の検証-シングルケーススタディ-
JPTA0227-1536	19日	13:10-13:40	談話室2	一般演題	その他	D34-1	慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者に対し活動性誘発脱力に留意した非監視下運動療法を試みた一症例
JPTA0227-1538	18日	16:00-16:30	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）1	D8-4	下肢装具の足関節自由度が麻痺肢足圧中心に与える影響
JPTA0227-1540	18日	12:40-13:40	第5会場	指定演題	脳損傷・回復期	T4-1	律動刺激と経頭蓋直流電気刺激の併用が小脳梗塞後症例の立位姿勢バランスに及ぼす影響
JPTA0227-1541	18日	15:10-15:40	談話室2	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）1	D5-5	右片麻痺の既往があり新たな右脳損傷により病巣と同側の右後方へのPusher現象が生じた症例
JPTA0227-1542	18日	14:20-14:50	談話室2	一般演題	脳損傷（測定・評価）	D2-3	脳卒中片麻痺者に対する振動覚スケールの妥当性の検討-Rydel-Seiffer音叉を用いた振動覚スケールの有用性-
JPTA0227-1543	18日	14:20-14:50	談話室2	一般演題	脳損傷（測定・評価）	D2-4	当センターにおける神経画像情報の臨床活用に関する現状と課題～アンケートによる実態調査～
JPTA0227-1545	18日	12:40-13:40	第4会場	指定演題	脳損傷・急性期	T3-1	脳卒中患者における発症前フレイルの有症率と入院後の影響調査
JPTA0227-1547	18日	15:00-16:00	第3会場	口述演題	神経筋疾患・バランス・歩行	O2-1	脊髄小脳変性症に対する短期集中リハビリテーションにより立位バランスが改善した一症例
JPTA0227-1548	18日	18:30-19:00	談話室1	一般演題	脳損傷（生活期）	D16-3	演題取下
JPTA0227-1554	18日	15:00-16:00	第4会場	口述演題	脊髄障害	O3-2	脊髄髄内腫瘍の術後急性期における歩行リハビリテーション導入の試み
JPTA0227-1555	19日	10:40-11:10	談話室3	一般演題	脳損傷（バランス）	D27-3	後方への転倒傾向を呈した脳卒中患者に対しVirtual Reality機器の利用から良好な経過に至った一症例
JPTA0227-1571	18日	14:20-14:50	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）1	D3-5	歩行練習時の膝折れによる膝痛を軽減するために長下肢装具が有効であった重度片麻痺を呈した脳卒中症例
JPTA0227-1576	18日	12:40-13:40	第2会場	指定演題	神経筋疾患	T1-1	前庭リハビリテーションによる前庭動眼反射の改善効果について
JPTA0227-1577	18日	15:00-16:00	第5会場	口述演題	脳損傷・急性期	O4-2	急性期脳卒中患者における骨格筋の経時的変化
JPTA0227-1580	18日	14:20-14:50	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）1	D3-2	脳卒中後片麻痺者にOrthobotを使用し即時的にストライド長と歩行速度が改善した一症例
JPTA0227-1581	18日	15:00-16:00	第4会場	口述演題	脊髄障害	O3-4	外傷性胸髄完全損傷患者の実績指数の傾向-当院回復期リハビリテーション病棟における後方視的調査-
JPTA0227-1582	19日	12:30-13:30	第4会場	口述演題	脳損傷・急性期・歩行	O9-5	右人工股関節置換術後翌日に脳動脈奇形による左脳内出血を発症した一例
JPTA0227-1583	19日	12:30-13:30	第3会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行2	O8-4	ウエルウォークを用いた歩行練習はpusher現象の早期改善に貢献できるか?-多施設共同無作為対照試験 第1報-
JPTA0227-1588	19日	10:40-11:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）4	D26-2	長下肢装具とウエルウォークを併用して歩行能力が改善した遷延性弛緩性片麻痺の一例
JPTA0227-1593	18日	12:40-13:40	第4会場	指定演題	脳損傷・急性期	T3-3	くも膜下出血後の脳血管攣縮期の離床開始は症候性脳血管攣縮を増加させない：多施設共同、後ろ向き観察研究
JPTA0227-1594	18日	16:00-16:30	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）1	D7-4	回復期脳卒中患者における健康効用値と客観的評価による身体活動・座位行動との関連
JPTA0227-1596	18日	15:10-15:40	談話室2	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）1	D5-1	姿勢制御障害と顕著な情動・遂行機能障害を呈した一症例
JPTA0227-1598	18日	15:00-16:00	第3会場	口述演題	神経筋疾患・バランス・歩行	O2-4	Camptocormiaを呈するパーキンソン病患者2症例の歩行時の前方不安定性～三次元動作解析装置を用いた検証～
JPTA0227-1599	18日	15:10-15:40	談話室2	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）1	D5-3	背側および腹側注意ネットワークの不均衡に対し、運動プログラミングへの介入が有効であった症例
JPTA0227-1604	18日	16:50-17:20	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）2	D11-4	くも膜下出血後の続発性正常圧水頭症による歩行能力低下に対してBWS TT介入により歩行能力が改善した1症例
JPTA0227-1607	19日	12:20-12:50	談話室2	一般演題	神経筋疾患（急性期・回復期）	D32-5	当センター回復期病棟におけるギラン・バレー症候群患者に対するmEGOSの使用
JPTA0227-1610	19日	9:00-9:30	談話室3	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）	D21-3	大脳基底核損傷後に生じた動作手順障害、運動開始困難に対する段階的難易度設定運動療法の効果
JPTA0227-1611	18日	17:40-18:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）3	D14-2	左被殻出血により筋緊張コントロールに難渋した症例に対する歩行再建
JPTA0227-1617	19日	11:30-12:00	談話室3	一般演題	発達障害	D30-2	発達障害児における立位姿勢制御機能の経時的変化
JPTA0227-1618	19日	9:00-9:30	談話室3	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）	D21-4	独歩自立困難であった病態失認症例の姿勢障害と生活行動についての経過：症例報告
JPTA0227-1620	19日	11:30-12:00	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）5	D29-1	注意障害により歩容の修正が困難であった患者に対するSplit-Belt-Treadmillを用いた歩行練習の即時効果
JPTA0227-1621	18日	18:30-19:00	談話室2	一般演題	脳損傷（ADL）	D17-2	急性期脳梗塞患者における理学療法一日平均単位数に影響する因子～非線形回帰分析を用いた交互作用の検討～
JPTA0227-1622	19日	9:50-10:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）4	D22-1	身体認識の低下を認めた症例に対する歩行練習の再考
JPTA0227-1626	19日	12:30-13:30	第5会場	口述演題	神経筋疾患・歩行・バランス・その他	O10-1	筋線維横断面における輪郭形状と円形度パラメータによる形態解析
JPTA0227-1627	18日	16:50-17:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）2	D10-5	異常筋緊張を呈した視床出血の症例に対する治療介入～誰に見られてもいい歩容の獲得を目指して～
JPTA0227-1628	19日	9:00-9:30	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）3	D19-1	Coronavirus (COVID-19) の院内感染が脳卒中急性期リハビリテーションに与えた影響
JPTA0227-1629	18日	17:40-18:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）3	D13-1	両側前大脳動脈領域損傷患者に対する理学療法-入院時全介助から歩行可能となり自宅退院に至った症例-

第19回日本神経学療法学会学術大会 採択演題一覧

2021年11月19日

登録番号	日付	時間	会場名	種類	セッション名	演題番号	演題名
JPTA0227-1630	19日	10:40-11:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）4	D26-3	Pusher症状を呈した重度片麻痺患者にT-Supportを使用した歩行練習の検討
JPTA0227-1632	19日	9:50-10:20	談話室3	一般演題	脊髄障害（測定・評価、歩行）	D24-5	胸髄症による両側下肢麻痺に対して器具療法にて歩行能力獲得を目指した一例
JPTA0227-1636	18日	18:30-19:00	談話室3	一般演題	脊髄障害（回復期・生活期）	D18-4	頸髄損傷者を中心とするパラスポーツ選手におけるコロナ禍による健康・生活への影響について
JPTA0227-1637	18日	16:50-17:20	談話室3	一般演題	脳損傷（物理療法）	D12-1	過剰な遊脚代償パターンを呈した脳卒中片麻痺患者に対する機能的電気刺激による介入の反応：症例報告
JPTA0227-1639	19日	11:30-12:00	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）6	D28-1	回復期脳卒中患者における身体活動量と栄養状態との関連
JPTA0227-1640	19日	9:50-10:20	談話室3	一般演題	脊髄障害（測定・評価、歩行）	D24-4	頸髄症による両下肢筋群痙縮に対してMBA治療と理学療法を併用して歩行能力改善を図った一症例
JPTA0227-1642	18日	16:50-17:20	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）2	D11-2	回復期脳卒中患者における入院時評価から自力歩行獲得に影響を与える絶対的指標の検討：後ろ向き研究
JPTA0227-1644	18日	15:00-16:00	第2会場	口述演題	脳損傷・歩行	O1-1	重度両内反尖足に対し、早期に腱延長術を施行し、歩行が獲得できた一例
JPTA0227-1646	19日	11:30-12:00	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）6	D28-3	回復期脳卒中患者における入院時サルコペニア及び身体活動量とADLとの関係
JPTA0227-1651	19日	10:40-11:10	談話室3	一般演題	脳損傷（バランス）	D27-4	両下肢に器具装着した立位で一側上肢挙上する際の予測的姿勢制御の検討
JPTA0227-1652	19日	10:10-11:10	第4会場	指定演題	脳損傷・物理療法・評価・測定	T9-1	拡散型体外衝撃波治療の刺激強度の違いが健常者の脊髄運動ニューロン興奮性や末梢組織の柔軟性に与える影響
JPTA0227-1658	18日	15:10-15:40	談話室2	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）1	D5-4	右脳損傷による左片麻痺と高次脳機能障害により車椅子生活で退院を打診された症例の自宅歩行が自立するまで
JPTA0227-1659	18日	16:50-17:20	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）2	D11-1	軽度運動麻痺脳卒中患者における歩行不安定性と安定化戦略の縦断的变化
JPTA0227-1660	18日	14:20-14:50	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）1	D1-4	急性期脳出血患者の早期離床に関連する因子の検討 ～多施設共同研究～
JPTA0227-1663	19日	9:00-9:30	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）3	D20-1	ウェルウォークの膝屈伸アシスト機能が脳卒中片麻痺患者の歩行に及ぼす即時効果 -シングルケーススタディ-
JPTA0227-1664	18日	16:00-16:30	談話室3	一般演題	脳損傷（予後予測）	D9-5	長下肢装具が処方された回復期脳卒中患者の栄養状態と歩行予後の関係
JPTA0227-1667	19日	12:30-13:30	第3会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行2	O8-3	重度慢性期脳卒中を呈した左急性硬膜下血腫、外傷性クモ膜下出血患者の歩行再獲得への検討
JPTA0227-1669	19日	10:10-11:10	第5会場	口述演題	脳損傷・評価・測定	O5-4	脳卒中患者における物体把持課題時の把持力調節特性の検討 -過剰出力、動作不安定性、予測制御に着目して-
JPTA0227-1670	18日	15:00-16:00	第2会場	口述演題	脳損傷・歩行	O1-2	脳卒中患者の内反尖足に対し手術療法を施行し歩行時の足底圧分布に改善を認めた一例
JPTA0227-1671	19日	10:40-11:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）4	D26-5	生活期脳卒中患者の歩行能力改善のための集中的理学療法効果について
JPTA0227-1672	19日	9:50-10:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）4	D22-3	心疾患の既往が回復期脳卒中者の日常生活活動の改善に及ぼす影響
JPTA0227-1673	19日	9:00-9:30	談話室3	一般演題	脳損傷（高次脳機能障害）	D21-5	小脳性運動失調と高次脳機能、自己効力感との関係に関する検討 ～SAMI-S～
JPTA0227-1674	19日	11:20-12:20	第4会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行	O6-2	歩行開始における脳卒中片麻痺患者の体幹運動特性
JPTA0227-1676	19日	9:00-9:30	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）3	D20-5	当院でのウェルウォークにおける歩行獲得に及ぼす因子の検討
JPTA0227-1677	19日	9:50-10:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）4	D22-4	脳卒中患者における自宅退院後の生活空間の狭小化に関連する退院時の身体機能-退院後1年間の縦断的検討-
JPTA0227-1679	18日	16:00-16:30	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）1	D7-3	訪問リハビリとの連携により回復期病院退院後の日常生活動作能力の低下を予防できた1症例
JPTA0227-1682	18日	12:40-13:40	第3会場	指定演題	脊髄障害	T2-3	頸髄損傷患者へ疾患特異的な評価を使用し、目標設定・介入を行った結果、歩行自立・自宅退院に至った症例
JPTA0227-1684	18日	17:40-18:10	談話室3	一般演題	脳損傷（その他）	D15-2	介入早期から無誤学習での歩行再建を目指した橋梗塞一症例～介入開始時の意思決定の共有模様～
JPTA0227-1687	18日	12:40-13:40	第5会場	指定演題	脳損傷・回復期	T4-2	起立動作に失敗する脳卒中片麻痺者の動作達成のために必要な運動学・運動力学的要因
JPTA0227-1689	19日	9:00-9:30	談話室2	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）3	D20-3	左視床出血によりロッキング歩行を呈した症例～歩容改善に向けた実践報告～
JPTA0227-1692	18日	17:40-18:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）3	D14-5	歩きスマホにおける操作方法別の歩行パラメータ変化
JPTA0227-1693	19日	12:30-13:30	第4会場	口述演題	脳損傷・急性期・歩行	O9-1	脳卒中患者を対象とした膝関節運動覚検査の検者内信頼性に関する検討
JPTA0227-1695	19日	12:20-12:50	談話室2	一般演題	神経筋疾患（急性期・回復期）	D32-2	回復期病院と連携して転院後もmechanical in-exsufflationを継続して使用できたパーキンソン病患者の一例
JPTA0227-1696	18日	17:40-18:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）3	D13-5	脳海綿状血管腫からの脳幹出血により重度運動失調を呈した症例に対する、複合的かつ長期的介入の経験
JPTA0227-1698	18日	16:00-16:30	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）1	D8-1	小脳性運動失調者に対する免荷式トレッドミル歩行練習の効果～姿勢安定度評価指標による評価と治療の検討～
JPTA0227-1699	19日	11:20-12:20	第5会場	口述演題	基礎・その他・発達	O7-2	計量テキスト分析を用いた神経学療法研究の動向調査
JPTA0227-1701	19日	11:30-12:00	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）5	D29-3	下肢運動麻痺と至適歩行速度に基づく脳卒中片麻痺患者の歩行安定性の分類
JPTA0227-1702	19日	12:20-12:50	談話室1	一般演題	神経筋疾患（バランス）	D31-1	立位時に転倒への不安・恐怖感に起因した体幹前傾前屈姿勢を呈したパーキンソン病症例への調整的介入
JPTA0227-1703	18日	14:20-14:50	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）1	D3-3	当院の被殻・視床出血患者に対する短下肢装具処方の実態調査
JPTA0227-1705	19日	11:20-12:20	第4会場	口述演題	脳損傷・回復期・歩行	O6-4	回復期脳卒中患者の短下肢装具の種類は退院後の生活範囲に影響を及ぼすか
JPTA0227-1706	18日	15:10-15:40	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）2	D6-5	脳卒中片麻痺者の下肢装具選択において体幹加速度ならびに足圧の評価を基に客観的な臨床判断を行った症例
JPTA0227-1707	19日	12:20-12:50	談話室2	一般演題	神経筋疾患（急性期・回復期）	D32-4	ギラン・バレー症候群に対する運動負荷量の模索
JPTA0227-1708	18日	16:50-17:20	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）2	D11-3	運動単位の動員異常、痙性運動症状により歩行困難を呈した一症例
JPTA0227-1709	18日	12:40-13:40	第5会場	指定演題	脳損傷・回復期	T4-3	回復期脳卒中患者を対象とした退院後就労者の累積就労継続率と就労継続を困難にする要因について
JPTA0227-1711	19日	9:50-10:20	談話室3	一般演題	脊髄障害（測定・評価、歩行）	D24-3	脊髄損傷者の損傷節節の違いによる車いす駆動特性の変化 -駆動トルク生成に関連する機能モジュールの抽出-
JPTA0227-1713	18日	14:20-14:50	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）1	D3-1	装具作成プロセスにおいてShared Decision Makingに主眼を置いた関わりを行った脳卒中後片麻痺症例
JPTA0227-1714	18日	14:20-14:50	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）1	D1-1	過去10年間の脳卒中急性期患者の背景因子の変化と特徴 -脳卒中データベース 後方視的研究-
JPTA0227-1715	18日	12:40-13:40	第5会場	指定演題	脳損傷・回復期	T4-4	回復期リハビリテーション病棟退院後の脳卒中患者における就労達成者の特徴～サブグループ解析による検討～
JPTA0227-1716	19日	10:40-11:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）5	D25-2	くも膜下出血後の脳血管攣縮期に離床を実施し独歩獲得に至った2症例

第19回日本神経学療法学会学術大会 採択演題一覧

2021年11月19日

登録番号	日付	時間	会場名	種類	セッション名	演題番号	演題名
JPTA0227-1718	19日	10:40-11:10	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）5	D25-3	脳卒中後肩痛の病態を考慮した介入選択が痛みの軽減に有効であった被殻出血後の一症例
JPTA0227-1722	18日	15:10-15:40	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）2	D6-4	移行期間における長下肢装具の併用が麻痺側下肢筋活動に及ぼす影響 長下肢装具歩行時の筋電図学的分析
JPTA0227-1723	19日	9:00-10:00	第4会場	指定演題	脳損傷・測定・評価	T6-3	脳卒中後の痙縮と前庭脊髄路興奮性との関連
JPTA0227-1724	18日	16:50-17:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）2	D10-4	ブッシュナー現象が強くて右被殻出血症例に対する治療考察 ～両側刺激にて正中性改善に伴う回復～
JPTA0227-1725	19日	12:20-12:50	談話室2	一般演題	神経筋疾患（急性期・回復期）	D32-3	回復が遅延したギラン・バレー症候群患者に対する理学療法の経験 一自宅復帰までの身体機能の回復過程一
JPTA0227-1726	18日	17:40-18:10	談話室2	一般演題	脳損傷（歩行）3	D14-4	定期的な三次元歩行動作解析を治療計画に活用した右尾状核出血の一例
JPTA0227-1727	18日	16:00-16:30	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）1	D7-2	回復期脳卒中片麻痺者における筋収縮課題の違いによる運動単位発火様式への影響
JPTA0227-1728	19日	9:00-10:00	第2会場	指定演題	脳損傷・歩行・装具・ロボット	T5-1	適応歩行時のステップ位置調整における皮質活動の変化についての検討
JPTA0227-1729	18日	15:10-15:40	談話室1	一般演題	脳損傷（急性期）2	D4-2	被殻出血の急性期における長下肢装具の使用に係る要因の検討
JPTA0227-1730	18日	15:00-16:00	第5会場	口述演題	脳損傷・急性期	O4-3	急性期脳卒中患者におけるGLIM基準で診断された低栄養の有病率と日常生活動作との関係
JPTA0227-1731	18日	15:00-16:00	第5会場	口述演題	脳損傷・急性期	O4-1	重度意識障害がある脳卒中患者に対するリハビリテーション内容の後方視的検討
JPTA0227-1734	18日	18:30-19:00	談話室3	一般演題	脊髄障害（回復期・生活期）	D18-5	BrownSquad症候を呈した頸髄損傷症例に対する脊髄間葉系幹細胞投与とリハビリテーションによる機能改善
JPTA0227-1736	19日	12:20-12:50	談話室1	一般演題	神経筋疾患（バランス）	D31-3	姿勢制御時の脳活動と筋活動が立位姿勢制御能力に及ぼす影響 ～pilot study～
JPTA0227-1737	18日	15:00-16:00	第3会場	口述演題	神経筋疾患・バランス・歩行	O2-2	脊髄小脳失調症例における身体運動の制御特性 一随意動揺・把持力調節が内包する予測制御に着目して一
JPTA0227-1738	18日	15:00-16:00	第4会場	口述演題	脊髄障害	O3-1	脊髄障害を有する症例の起き上がり動作の可否に関連する因子
JPTA0227-1739	18日	16:50-17:20	談話室3	一般演題	脳損傷（物理療法）	D12-2	長期臥床患者に対するボツリヌス療法と電気刺激療法の有用性
JPTA0227-1740	19日	11:30-12:00	談話室3	一般演題	発達障害	D30-4	パーキンソン病患者の杖を工夫し、すくみ足が軽減した一症例
JPTA0227-1741	18日	16:00-16:30	談話室3	一般演題	脳損傷（予後予測）	D9-2	急性期におけるMini-BESTestを用いた早期転帰先予測の可能性について
JPTA0227-1742	19日	9:50-10:20	談話室1	一般演題	脳損傷（回復期）4	D22-2	歩行能力向上を目的に環境と身体との相互作用に着目し介入した一症例
JPTA0227-1743	18日	17:40-18:10	談話室3	一般演題	脳損傷（その他）	D15-1	両眼性複視に対する対象追跡課題と視線分析
JPTA0227-1744	18日	14:20-14:50	談話室3	一般演題	脳損傷（装具・ロボット）1	D3-4	褥瘡を呈した重度右片麻痺患者に対し、免荷期間と装具への工夫によりトイレ動作見守りへと至った症例
JPTA0227-1745	19日	11:30-12:00	談話室3	一般演題	発達障害	D30-1	重度成人脳性麻痺者の大腿四頭筋筋厚および大腿直筋筋輝度に日常の立位機会の有無が及ぼす影響